



ローマ字入力

3年生の子どもたちが、パソコンでローマ字入力にチャレンジ!!

ローマ字は、国語の授業で学習します。以前は、4年生の学習だったのですが、新学習指導要領になってから3年生の学習になりました。

3年生の子どもたちは、初めて学習することでもあり楽しくてワクワクしています。アルファベットを読んだり書いたりして、繰り返し学習します。アルファベットを理解すると、次は文字や単語の学習へとステップアップしていきます。楽しい学習も、このころからだんだんと難しく感じる子どもたちが増えてきます。

今年は、パソコンを使って習ったローマ字を入力することで、ローマ字学習の定着を図ることにしました。

最近の子どもたちは、パソコンにあまり抵抗がないようです。家でもパソコンを使っていて慣れている子どもが多いからでしょうか。ゲームをしている子がほとんどでしたが・・・

パソコンルームには、児童用に40台のパソコンと子どもたちがキーボードに慣れるソフトなどがあります。それらを使って、両手でローマ字入力の方法を学習しました。指を「ホームポジション」に置き、左手・右手・両手とレベルを上げて3時間ほど入力の方法を学習していきます。初めにしっかりと「ホームポジション」を覚えさせることが肝心です。

子どもたちは、直ぐに慣れて、どの子もアルファベットを入力できるようになりました。

「名探偵ポポロの謎解きタイピング」の初級編「ぬすまれた写真を取り返せ!」にチャレンジしました。このソフトは、出てきた文字の通りにローマ字を入力するものです。早く入力すると得点が高かったり、時間内に入力しないと文字が消えてしまったりするゲーム性のあるものです。だからなのでしょう、子どもたちはゲーム感覚で楽しく学習していました。ローマ字を早く覚えて、高い得点を出そうと子どもたちの学習意欲を刺激したようです。



授業を終えると「楽しいからまたやりたい。」「ローマ字の勉強が好きになった。」

「今日は、ローマ字の宿題があるよ。頑張る。」と全員の子どもたちから嬉しい声を聞くことができました。

ローマ字を使う必要性を感じ、達成感を味わうことが覚えようという学ぶ意欲へと繋がったのでしょう。目的意識を持たせること、それが「自ら学ぶ」ことに繋げるポイントです。そうすると、知らず知らずのうちに、学びたいことを習得し身につけていきます。

「家でも練習している子どもがいるんですよ。」と担任から聞きました。直ぐに、先生より速くローマ字入力ができるようになるかもしれません。

子どもの頭は柔らかくて、どんどん色々なことを吸収していきます。子どもの力ってすごいですね。

そんな子どもたちから、私は毎日元気と喜びをもらっています。

この一年間、校長だよりをお読みいただきありがとうございました。「校長先生おたよりを読みましたよ。」という嬉しい言葉をたくさんいただきました。稚拙な文章でどこまでお伝えすることができるかわかりませんが、来年度も、学校行事や授業の様子・子どもの様子など、時折お知らせしたいと思います。